

【中区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6 月 3 日（月） 15時00分 ～ 16時00分
場 所	中区役所 6 階 特別会議室
出席者	<p>【座長】松本研議員</p> <p>【議員：2名】福島直子議員、伊波俊之助議員</p> <p>【中区：27名】竹前大区长、吉田美幸副区长、 秋元政博福祉保健センター長、関野昌三福祉保健センター担当部長、 太田孝中消防署長、永瀬一典中土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和元年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について</p> <p>2 その他</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1</p> <p>令和元年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について</p> <p>伊波議員：3 ページの地域防災力。ここで初めて、横浜マリン FM が出てきたので、そういった意味では、行政の皆さんに普及をさせていただいているのだなど。同じように、22 ページの地域連携にもつながっていると思いますので、是非、普及をお願いしたい。それと、あと、3 ページの（1）のウの部分で、今年の総合防災フェアは、いつどこでやるのですか。</p> <p>森山総務課長：9 月 28 日に産貿ホールです。ホールでイベントなどをします。会場が大きくなります。</p> <p>伊波議員：わかりました。ありがとうございます。</p> <p>5 ページの放置自転車・交通安全の部分ですが、道路局の、すごくいい体裁のルールブックを 4 月に作っていただきました。道交法でどこの部分で違反してますよということが細かく実は書いてありまして、いわゆる二人乗りはやめましょうとか、そういうのとは、また違うのですが、この（2）の部分で保育園に配布とあるのですが、幼稚園というのは含まれるのですか。</p> <p>真船地域振興課長：幼稚園は含まれていません。保育園のみになります。先生がおっしゃっているのは、「みんなのサイクルルールブック」のことですね。</p> <p>伊波議員：そうです。</p> <p>真船地域振興課長：こちらは、保育園に渡しても、先生しかわからないと思います。</p> <p>伊波議員：保護者についてですが、実は地域で、だいたい朝 9 時、皆さん、仕事をしている時間だと思うのですが、自転車に乗って、お母さんたち、すごい勢いなんです。もう本当に万が一のことがあると、本当に親御さんも、お子さんも、昨今、いろいろな事件、事故が増えてますけども、そういったことの抑止の部分で、配布を御検討いただければよろしいです。</p> <p>真船地域振興課長：はい。</p>

伊波議員：13ページのアシスト事業ですが、拡大解釈になってしまうかもしれないのですが、公園の規模もいろいろあると思うのですけども。いわゆる健康遊具についてです。どうしても、公園という子どもたちが集う場所という位置づけがあるのですが、先週お送りした寿町は高齢化率57パーセントと、いろいろとその元気な御高齢の方々を巻き込む中で、そういった健康遊具をこれからは増やしていくのか、あるいは、今までのものを入れ替えていくのか。どのようにお考えでしょうか。

永瀬中土木事務所長：現在の中では、今の健康の遊具のところ以外で、スペースがあるところについて、地元で要望があれば置いていっています。ただ、今の、子どもの遊具をどけてまでは、しておりません。

伊波議員：はい。是非、検討してください。

永瀬中土木事務所長：検討します。

伊波議員：よろしくをお願いします。

あと、15ページの障害児・者ですが、パラリンピックの皆さんをお招きすることは大変いいことだなと思うのですが、勉強不足で申し訳ないのですが、中区において、いろいろなパラスポーツをやっている団体は、いくつくらいあるのですか。

和田高齢・障害支援課長：障害者団体としてスポーツ系の方との関わりがございませんので、把握していません。

伊波議員：是非、パラリンピアンの方々とそのスポーツをやってる方々、あるいは、子どもたちで握手をしてもらいたいんです。すごく勇気づけられる。講演を聞いていただくという方が大事な部分なのかもしれないのですけども、距離感がある。そこまで、掘り下げていただけると、より身近に感じていただけると。また、新たな活力につながっていくと思いますので、お願いします。

あとは、商店街です。24ページですが、先ほどの麦田の発展会、実は、私も加盟している一員ですけども、私のところは、上野町一・二丁目東部商店街だったのですが、なくなりまして、発展会の方が受け皿になっていただいています。その山手商連の中で麦田の発展会というのは、一番、実は加盟人数が多くて、若い人たちがどんどん入ってきており、何でかなあと思っていると、やはり個店の責任と商店街の役割があるのですね。そういったときに個店の責任とは、経営の部分、しっかり責任を持ってやっていく。商店街というのは、いろいろなアンテナ張って、いろいろな補助事業をやるのです。そういったときに、どうしても、横浜市中区だけだと、どうしても限界があって、例えば、国の事業だと、そういったことは経済局も絡んでくるかもしれないのですけど、そういうところの部分というのは、地域振興課でやる枠を超えているのかもかもしれないけれど、そういうところは、どういうふうを考えていらっしゃるか。

真船地域振興課長：国の事業のレベルまで行くと、やはり、経済局の方が窓口になっているかと思います。どちらかと言うと、私どもは、大きい事業というよ

りは、局ではできないような、丁寧に細やかにフォローすることを主眼に置いて事業をやっておりますので、先生、おっしゃるような大きい事業というのは、ちょっと想定していなかったです。

伊波議員：22ページ。本牧ベースだと、このマリンFM、実は国の事業で。

真船地域振興課長：そうですね。

伊波議員：それが、中区で。ちょっと、常に情報を商店街に教えていただけるようになっていただけたらうれしいな。商店街の責任も出てくる。

真船地域振興課長：わかりました。

伊波議員：よろしくお願いします。

最後に、31ページ、開きます。先ほど、区長から区役所のことをお話しされましたけども、放送設備について、何かありますか。

竹前区長：放送というのは、マリンFMのことでしょうか。

伊波議員：じゃなくて。館内放送と言うのですか。

竹前区長：はい。例えば、中区音頭を流すということかと思います。市庁舎ではエレベータ内で音楽を流すようなことをやっているのですが、そういうのをできないと言われるとですね、施設整備をしないとエレベータ内に流せないのです。それを執務室まで流す方がいいのか悪いのか、そこも少し検討しなくてはいけないので、その放送設備については、今、総務課の方で検討しています。

伊波議員：わかりました。

狭隘についてですが、市民の方からすると、待っている間が長いんですね。どうしても、心理的な部分が出てきちゃうのかもしれないけど、そういう音楽が流れていたら違うのかなあという気がします。

竹前区長：今、2階、1階は、ビジョンがありまして、待合いの番号が出る横では、いろいろな事業者のCMと、街のいろいろなビデオを流しているのですが、音が出ていないので、いまいちなんです。音を少しでも流して、そういう映像に目が行くとかと、音楽が流れているみたいなのとどっちがいいのか、そこらへんは、少し考えてみたいと思います。間奏音楽みたいなのは、流していた区役所は、昔、あったような気がするのですが、今はどうなっているか、ちょっと、分かりませんが。

伊波議員：ありがとうございます。

福島議員：伊波先生から御指摘の部分と大分かぶるのですが、3ページの先ほど出た防災アトラクションですが、参加者が大変増えて、好評ということですが、効果測定は、どういうふうにしていくのかということに関しては関心があるのですが、今年で、3回目、2回目ですか。

竹前区長：去年、初めてです。

福島議員：2回目ですね。参加したことで、具体的に、その参加者が、意識が変わって、何かしら発災行動を自宅で行ったとかですね、そういった追跡調査み

たいなのができるとありがたいかなという感じを持ちましたので、御検討いただけたらいかがかなと思っています。

竹前区長：防災アクションにして、従来は非常に町内会を中心にした御高齢の方が多かったのですが、今回、先生方も見ていただいて分かると思うのですが、非常に子どもたちの参加が多かったということで、その保護者、若い世代の方々が非常に参加が多かった。それで良かったとせずに、できれば防災訓練に参加、もっと他の地域の防災訓練に参加してもらおう。それから、自治会・町内会担当なんかにも担い手として参加いただけるようなきっかけとか、チャンスなので、せっかく参加していただいて、そこをうまくとらえた、その融合的なイベントにならないだろうかというのは、今、検討しております。

福島議員：是非、そのような方向づけができるといいなと思っておりました。

5ページの放置自転車の件でございますが、私なんか、その地域で行われている、いろいろなイベントに伺うときに自転車に乗って行きますと、置く所が無くて、非常に苦勞するわけですが、既存の施設には設置義務が今のところ無いのですが、中区役所もエントランス周辺を改良するという中で、自転車をどうするかとか、主だった公共施設の場合は、どうしても駐輪スペースが無いので、その解決を何とか図っていかないといけないというふうに思います。今年度についても、具体的な予算なり、検討なりというのは、無いですかね。

竹前区長：ちょうど、伊勢佐木町に去年、駐輪場ができました。それを受けて、関内の周辺、駅のこっち側の住吉町とか常磐町あたりも、一応、駐輪禁止の網がかけられることになりました。やはり、公設や民設の駐輪場があって、初めて、他の所に停めてはいけないよということになりますが、この日本大通りから、区役所付近には、そういう駐輪場は無いので、現時点では網がかかっておりません。ですから、我々、非常に危機感があるのは、来年のオリンピックのときに、ここらへんに駐輪がいっぱいされたときに即時撤去ができない状態になるということで、できれば、この区役所の前ですね、40台ぐらいは区役所の駐輪場としての占用許可を道路局に取っておりますけれども、それ以外に、かなりの台数がいつも停まっている状態です。区役所への来庁者というよりは、他に停める所が無いので、ここにずらっと停めている状況なんです。それから、日本大通りも結構駐輪がされています。こういった状況が、来年も継続していると、非常に街の美観を損ねますし、歩道上に置いてあるものですから、歩道環境も非常に悪いと考えております。土木事務所を中心に相談をしながら、このエリアについて、駐輪場、それから自動二輪、原付も、日曜日には開港広場、シルクセンターの前のあたりは多くのバイクが止められて、それも、駐車場が無いということもありますので、民間駐車場等にバイクの駐輪、駐車場を作っていただく協力も求めながら、この状況を改善していかないといけないというふうに思っております。今年、できれば、早急に解決をしていかなく

てはならないという大きな課題として思っております。一応、オリンピック、パラリンピックの担当局の方にも、この話は伝えておまして、できれば、オリンピックのスタートまでに、何とか、この状態は改善しないとまずいんじゃないかということを持ち上げてほしいということも言って、オリパラ担当局から関係局に協力を依頼するような形で進めたいなと思っております。

福島議員：それは、是非、お願いしたいですね。立体駐輪場とか、いろいろな方策は、あるのだろうなと思うのですが、なにぶん、土地のお値段がいい場所だから、あまりそんなこともできないのかもしれませんが、建設なんかでも協力もいただかないと。県民ホールも停めるとこ、無いんですね。ガードマンさんが来て、だめですよと言われてしまうので、もう、うろうろした挙句に汗かいて、会場に入っていくみたいな感じがありますので。山下公園なども2か所ぐらいあるのですが、大変休日なんかは人気があって、もうあふれ返ってしまうのですね。ですから、何とかしていただかないとまずいなど。特に中区、複雑ですね。場所柄ありますので、区からも大いに声を上げて、私どもも大いに主張させていただいて、何とかしたいなと思うのですが、このモデルケースになるような、民間の協力をいただけるような何か方策を立てないと、まずいなど思っております、是非、よろしくお願ひしたいと思ひます。

福島議員：31ページの利用しやすい区役所づくり事業で、先ほど少し申し上げたところですが、さっき、音の問題もありましたが、バリアフリーという観点で、いろいろな障害の方がいらっしゃるの、今、障害者団体の方などからは、いろいろな御要望ありますね。何とかというのを付けて音がよく聞こえるようになるとか、様々なものがありますが、それは、どの程度、この区役所的には配慮すべきなのか、スタンダードみたいなものは明確にあるのでしょうか。

森山総務課長：それぞれの障害をお持ちの方々に合わせるようにとか、窓口での対応の道具も買ひまして、御用意はさせていただきます。このほかに健康福祉局から配備された筆談ボードもございますので、そういったもので対応させていただきます。まず、窓口対応的にはそうです。あと、庁舎の動きからすると、なるべく、つかからないと言ひますか、遮断するような、障害になるようなものは置かないよにということには配慮させていただきますが、昔からの庁舎でございますので、狭い部分が、どう改善できるかということをお回は、1階に手を入れますので、なるべく、そういったところを減らしていこうというふうにお考えをしております。

竹前区長：ラインをもう1回、整備し直しまして、障害者が分かるようなラインをきちんと作って、できるだけ綺麗にしたいと思ひしております。

福島議員：総合的に設計の方などに監修していただけるのは、大丈夫なんですかね。

森山総務課長：福祉のまちづくりの条例に全て適合した上で、工事、その他、やらさせていただきますので、基準になるところは大丈夫だと思ひます。さらに、

上乗せが、どこまでできるかというのは、ちょっと、今の段階では言えませんが、方向整理をしながら、設計させていただきます。

竹前区長：特に、この庁舎は古いものですから、最近の庁舎ですと、エレベーターもかなりの台数を設置され、かつ、エスカレーターまで付いているところがありますけれども、うちの場合はエレベーター2台で1台は地下の駐車場とつながっているということで、区で使用している自転車も乗ってきたりするというところで、実際に、非常に待ち時間が長くなるという御不便をおかけしています。特に障害者の方にですね。しかし、そういう状態は、単純な改修では、なかなか改善はできないということなので、非常に難しいところはありますけれども、できる範囲で、きちんと対応したいと思います。

福島議員：いろいろなバリアフリーがあるようなので、色とか文字の表示の問題とかもあるようですし、不十分な勉強で恐縮ですが、是非、せっかくの機会なので、十分できるところまで、お願いしたいと思います。

外側にイベントスペースを作るという話でしたけれども、そのイメージとしては、どんなときに利用することになるのでしょうか。

竹前区長：例えば、今回、ラグビーとか、オリンピックとか、市のいろいろな啓発事業なんかをそこでやれるようにしたいなど、いろいろなアイディアはあると思います。どういうふうに使っていくかは、これから、ちょっと考えないといけないと思います。できれば、市制や区制の区切りのときや、お祭りみたいなところで、いろいろなお祭り等で連動してやれるようなステージみたいなものがあればということで、電源もちゃんと用意しようと思っております。なにぶん、音の問題とか、交差点の所なので、あまり人が滞留すると、また、それはそれで交通の不便になるので、どの程度のものをどれくらいやるのか、そこは運用だと思います。今のところ、室外機と言いますか、設備系のもの、今は植栽があつて、時々、区役所、区庁舎の管理のための業務用の車を置くみたいな形で使っていますが、コーナーとして非常に人通りもあるし、信号のところでは待っている方々も多い交差点の角でございますので、今の使い方としては、もったいないなということで、少しそういう使い方、できるようにするとともに、そういうのをやってないときは少しベンチじゃないですけど、座れるような形のものも考えていきたいなと思っております。

福島議員：駐輪場にしてしまうには、ちょっと、もったいない場所ですけども、お祭りスペースというか、イベントスペースは、そこでいいのかなというのは、若干、素人的には疑問を感じます。

竹前区長：大きさとしては、そんなに大きくないので、本当に小さいスポットというか、そういったものぐらいにしか使えないんですよ。

福島議員：十分、周辺の植栽とか整理していただいて、本当に手狭さというか狭あいさの方が感じられる場所なので、イベントスポット、そこでいいのかなあ。

竹前区長：もともとですね、ここにスペースがあるのは公開空地のためにあるよ

うです。ですから、何か構造物を置いたり、何か物を置いてしまうと、だめなんです。

福島議員：そうですね。

竹前区長：誰でも通れるような公共的な空間として使わないとだめだということなので、苦肉の策ですけども、そういう使い方しかないのですね。

福島議員：むしろ、すっきりさせたいというのが、主眼だったという気がするのですが。

竹前区長：そうです。

福島議員：はい。分かりました。ありがとうございました。

松本議員：先ほど、また、駐輪場のお話があるようですけども。これからも、ますます、自転車が増えてくるのだと思うのですが、やっぱり自転車の利用者は、二つに区切られる。一つは、お買い物、もう一つは、例えば、レジャー。映画を見たりとか、そういう類のもんです。買い物に行く人たちは、どこかに駐輪場を作っても、そこに置かないんだよね。目的地のお店の前に置けるから自転車で行く。例えば、映画館だとか、美術館だとか、そういう所は、ちょっと離れた場所でも置いて、長時間、置いておくわけだから、いい。例えば、5分のお買物のために、10分離れた駐輪場に置くかといったら、たぶん置かないでしょう。

やっぱり、大別すると、そういう二つの利用者の方がいらっしゃる。例えば、駐輪場を設けましょうというときには、ショッピングセンターとか、お客様が集まる施設の所では、ある程度、広いスペースを駐輪場を確保して、民間の方々に、ある程度、ノウハウを借りて、場所は民地になるけれども、ある程度、行政がその設備費の支援をすとか、そんな形をしないと。民間にお願いしましょうと言ったって、なかなか一筋縄ではいきませんから。自転車の駐輪場って、車の駐車場に比べると、コストが、結構、かかるらしいので。結局、台数は、いっぱい置けるので。車だと、あのスペースで1か所でいいのだけれども、やっぱり、自転車の場合、ある程度、台数を多く置こうとすると、それなりに設備コストもかかるということと、あと、置き方でも、ちゃんとルール守る方と、そこへ、ちゃんと乗せないで、ちょこっと置きちゃうとか、そういう方々も、いらっしゃるので、そういう管理が大変だというお話も伺っているので、是非、その民間の方々にお願いする場合には、行政として、どんな支援が必要なのかということを考えることが一つ。あと、やっぱり商店街にお買い物のお客様。これは、短時間に限って、ある程度、幅の広い歩道上であれば、歩道で駐輪を禁止にしないで、逆に何時から何時までは駐輪していいですよというような、そういったことを考えていかないと、商店街の駐輪対策って、なかなかうまくいかないと思う。それができる商店街と、できない商店街がある。例えば、駐輪は、歩道が狭くてできないよという場合でも、コインパーキングは車のために置いてあって、何で自転車には無いのって思うのだけど、例えば、あ

	<p>あいうスペースは、いくら削って、ああいう所を自転車の駐輪専用レーンにするとか、そんなようなことをやっぱり考えていかないと、なかなか一筋縄でたぶんいかないと思う。中区は大きな商店街があるので、横浜でモデル的な地域があると思うので、是非、そのへんを利用しやすい駐輪場を作ってあげないと。ただ、作ったから、どうぞと言っても、なかなか利用者は増えてない。そのへんの意識を持って、これから、是非、御検討をいただければ、幸いです。</p>
備 考	